



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月14日

上場会社名 アライドテレシスホールディングス株式会社
 コード番号 6835 URL <http://www.at-global.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 大嶋 章禎
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 増田 晴美

TEL 03-5437-6007

四半期報告書提出予定日 2020年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	6,551	△7.1	△524	—	△583	—	△596	—
2019年12月期第1四半期	7,054	5.4	△322	—	△369	—	△385	—

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 △687百万円 (—%) 2019年12月期第1四半期 △393百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	△5.44	—
2019年12月期第1四半期	△3.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	24,009	3,746	15.2
2019年12月期	24,668	4,434	17.6

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 3,653百万円 2019年12月期 4,341百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

当期の業績予想につきましては、現時点で未定としています。
 (詳細は、[添付資料]P. 3「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年12月期1Q	109,671,545 株	2019年12月期	109,671,545 株
-------------	---------------	-----------	---------------

② 期末自己株式数

2020年12月期1Q	314 株	2019年12月期	314 株
-------------	-------	-----------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年12月期1Q	109,671,231 株	2019年12月期1Q	109,653,602 株
-------------	---------------	-------------	---------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当期の業績予想につきましては、現時点で未定としています。

(詳細は、[添付資料]P. 3「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2020年12月期第1四半期連結累計期間における当社グループは、持続的な成長と安定した収益確保を目指し、市場動向に基づく最新技術の製品化とサービスの事業化を推進しつつ、オンラインセミナーの拡充やターゲット市場に向けたメディア展開など効果的な普及・販促活動を実施しつつ、顧客ニーズに沿った提案型の営業活動を進めてまいりました。そうした中、サイバーセキュリティソリューション「Self-Defending Network」が米国で4つのアワードを獲得するなど、情報セキュリティ分野で高い評価を受けました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、営業・サービス体制を強化している日本で好調に推移したものの、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う都市封鎖などで経済活動が縮小した海外での売上が減少し、連結売上高は65億51百万円（前年同期比7.1%減）となりました。

損益面につきましては、減収に伴う売上総利益の減少などにより、営業損失は5億24百万円（前年同期は3億22百万円の損失）、支払利息及び為替差損などの計上により、経常損失は5億83百万円（前年同期は3億69百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は5億96百万円（前年同期は3億85百万円の損失）となりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの所在地別セグメント売上高の概要は次のとおりです。

〔日本〕

日本では、ターゲット顧客市場向けに「サイバーセキュリティ」、「無線LAN」、「ネットワーク統合管理」をキーワードとして主力製品・サービスの販促活動を展開しつつ、営業・サービス体制を充実させて営業活動を強化してまいりました。そのような中で、医療・文教・公共を中心に売上が増加し、中でも教育委員会や医療機関向けの大規模案件が好調となりました。この結果、売上高は45億66百万円（前年同期比8.4%増）となりました。

〔米州〕

米州では、企業活動が大幅に制限された影響から中央・州政府向けの売上が減少し、さらに販売代理店向けの出荷が減少しました。この結果、米州での売上高は9億34百万円（前年同期比30.0%減）となりました。

〔EMEA（ヨーロッパ、中東及びアフリカ）〕

EMEAでは、ドイツで医療機関や製造業向けの売上が大きく伸びました。一方で欧州各地での都市封鎖により企業活動が制限され、商談や設計・施工などの工事計画などに遅れが発生し、主に前年同期に好調であった北欧諸国やイギリス、フランス、イタリアでの売上が振るいませんでした。この結果、売上高は6億97百万円（前年同期比29.5%減）となりました。

〔アジア・オセアニア〕

アジア・オセアニアでは、各地での経済活動の制限により、各種プロジェクトの商談が停滞していることから、マレーシアやフィリピン、オーストラリアで売上が減少しました。この結果、売上高は3億52百万円（前年同期比31.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は240億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億58百万円減少となりました。これは主に、現金及び預金が11億40百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が17億80百万円減少したことによるものです。

（負債）

負債合計は202億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円増加となりました。これは主に、長期借入金金が9億5百万円、支払手形及び買掛金が3億16百万円、流動負債のその他が4億32百万円減少した一方で、リース債務が17億52百万円増加したことによるものです。

（純資産）

純資産につきましては、37億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億87百万円減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことにより利益剰余金が5億96百万円減少したことによるものです。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.4ポイント低下となる15.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、現在22か国に子会社を保有し事業を展開しています。そのため、新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な経済活動の制限及びそれに伴う景気悪化、為替変動及び米中間の通商摩擦影響等により、当社グループを取り巻く事業環境が短期的に大きく変動するリスクがあります。特に海外子会社では中央・地方政府の大型公共事業を手掛けることが多く、政治・経済動向が当社の事業活動に与える影響は大きくなります。このような理由から、次期の業績予想につきましては、現時点（2020年5月14日）で合理的な算定が困難であるため、未定としています。業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

また、利益配分に関する基本方針として、当社は、安定的かつ継続的な株主への利益還元を経営課題として考えるとともに、社会のニーズや技術の進歩・動向等を見据えた研究開発を成長のための必要不可欠な投資と位置づけた上で、経営基盤の強化と財務体質の健全性の保持に努めております。その上で業績に応じた株主への利益還元を実施することを基本方針としています。しかしながら、繰越利益剰余金が欠損の状況にあり、財務基盤の安定を最優先とすることから、配当を見送る予定です。当社は、早期の業績の回復と復配に向けて全力で取り組んでまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,995,294	4,136,039
受取手形及び売掛金	5,745,834	3,965,182
商品及び製品	3,937,924	3,865,207
仕掛品	350,231	328,574
原材料及び貯蔵品	688,351	757,265
その他	1,331,112	1,459,720
貸倒引当金	△92,517	△87,816
流動資産合計	14,956,231	14,424,173
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,672,428	2,653,445
その他(純額)	3,295,731	3,157,005
有形固定資産合計	5,968,159	5,810,450
無形固定資産		
その他	294,092	275,898
無形固定資産合計	294,092	275,898
投資その他の資産		
その他	3,459,991	3,509,270
貸倒引当金	△10,396	△10,096
投資その他の資産合計	3,449,594	3,499,173
固定資産合計	9,711,847	9,585,523
資産合計	24,668,078	24,009,697
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,558,449	2,241,522
短期借入金	2,129,174	2,129,384
1年内返済予定の長期借入金	1,539,274	1,476,682
未払法人税等	234,043	118,488
賞与引当金	105,087	147,737
前受収益	4,267,716	4,349,298
その他	2,779,139	2,347,126
流動負債合計	13,612,887	12,810,240
固定負債		
長期借入金	3,960,928	3,055,395
退職給付に係る負債	651,652	641,177
リース債務	1,385,225	3,138,046
その他	623,078	618,440
固定負債合計	6,620,885	7,453,060
負債合計	20,233,772	20,263,300

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,014,121	10,014,121
資本剰余金	194,407	194,407
利益剰余金	△6,002,177	△6,598,285
自己株式	△26	△26
株主資本合計	4,206,324	3,610,216
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	157,924	64,020
退職給付に係る調整累計額	△22,871	△20,769
その他の包括利益累計額合計	135,052	43,251
新株予約権	92,928	92,928
純資産合計	4,434,305	3,746,396
負債純資産合計	24,668,078	24,009,697

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	7,054,397	6,551,074
売上原価	2,970,169	2,683,326
売上総利益	4,084,227	3,867,748
販売費及び一般管理費	4,406,917	4,392,432
営業損失(△)	△322,689	△524,684
営業外収益		
受取利息	275	159
保険返戻金	6,399	6,399
その他	6,989	2,531
営業外収益合計	13,664	9,089
営業外費用		
支払利息	43,505	49,356
為替差損	15,237	13,263
その他	1,496	5,542
営業外費用合計	60,239	68,162
経常損失(△)	△369,264	△583,757
特別利益		
新株予約権戻入益	98,032	—
特別利益合計	98,032	—
特別損失		
事業再編損	96,561	—
特別損失合計	96,561	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△367,794	△583,757
法人税、住民税及び事業税	77,525	70,637
法人税等調整額	△59,344	△58,287
法人税等合計	18,181	12,350
四半期純損失(△)	△385,976	△596,107
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△385,976	△596,107

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純損失(△)	△385,976	△596,107
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△9,886	△93,903
退職給付に係る調整額	2,356	2,102
その他の包括利益合計	△7,530	△91,801
四半期包括利益	△393,506	△687,909
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△393,506	△687,909
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

配当金支払額

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

配当金支払額

該当事項はありません。

(追加情報)

当社の連結子会社であるアライドテレシス株式会社において、当第1四半期連結会計期間より、経営環境の変動に対応し推進しているワンストップ型の包括的なサービスの昨今及び今後の拡販に伴い、利益及び工数管理の向上を図るため、人件費等の原価計算を精緻化いたしました。

これに伴い、売上高と発生費用の関連を見直すことで経営成績をより適正に表示するべく、従来、販売費及び一般管理費として計上していた人件費等の一部を売上原価へと表示区分を変更することといたしました。

この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書の組替えを行っております。この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、販売費及び一般管理費に表示していた144,471千円を売上原価に組替えており、同額、売上総利益が減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	米州	EMEA(注)1	アジア・ オセアニア	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	4,213,508	1,335,188	988,798	516,901	7,054,397	—	7,054,397
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	180,656	10,183	29,128	1,366,838	1,586,807	△1,586,807	—
計	4,394,164	1,345,371	1,017,927	1,883,740	8,641,204	△1,586,807	7,054,397
セグメント損失(△)	△224,315	△22,301	△90,093	△89,275	△425,987	103,297	△322,689

(注) 1. ヨーロッパ、中東及びアフリカ。

2. セグメント損失の調整額には、セグメント間取引消去63,912千円及びセグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等39,384千円が含まれております。

3. セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	米州	EMEA(注)1	アジア・ オセアニア	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	4,566,517	934,833	697,044	352,679	6,551,074	—	6,551,074
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	147,194	4,608	18,153	1,219,679	1,389,636	△1,389,636	—
計	4,713,711	939,441	715,197	1,572,359	7,940,710	△1,389,636	6,551,074
セグメント損失(△)	△274,878	△59,093	△157,265	△67,134	△558,371	33,687	△524,684

(注) 1. ヨーロッパ、中東及びアフリカ。

2. セグメント損失の調整額には、セグメント間取引消去45,744千円及びセグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等△12,056千円が含まれております。

3. セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。